

鶴岡市ボランティアセンターだより

発行・お問合わせ
鶴岡市社会福祉協議会
鶴岡市ボランティアセンター
〒997-0033 鶴岡市泉町 5-30
Tel: 23-2970 Fax: 23-9110
E-mail: shk-vol2@shk01.jp

R5年度 新たな取組より

ボランティアセンターも連携団体として「まちキネ」との連携事業に参加します！

「山王キネまち大学 2023」で

映画プラスαで地域福祉を推進！

鶴岡市は、身近かに映画文化に触れられる町。

数々のヒット作品を撮影した多くの地域があり、何よりも広大なオープンセットがあり、たくさんの俳優や関係者が多くの市民と関わりをもってきました。そして、3月に再開された「鶴岡まちなかキネマ」は、地域を豊かにしてくれる「映画館で映画を観る」という文化に併せて、「福祉の心を育む」という地域福祉を推進する拠点として鶴岡市社協ともコラボしていきます。



準備や検討されている取組！

- 上映映画
 - ・認知症、障がい、まちづくり、子ども、子育て等のドキュメンタリーや娯楽映画
 - ・高齢者の皆さんが懐かしい映画等
- プラスαの取組
 - ・トークショー、障がい等を理解するミニ講座
 - ・バリアフリー上映会
 - ・高校生等若者企画事業、その他

「障がい者支援ボランティア講座」

ちょっとしたサポートができる人を増やしたい！

「車いす利用者の散歩のサポート」「家族が研修会参加時に発達障がい児の遊び相手」「知的障がい者の外出付き添い」「視覚障がい者の観光サポート」等々、近年ボランティアセンターに、障がいがある人へのちょっとしたサポートの相談が増えています。

要約筆記や手話通訳、点字は、それぞれ専門的ボランティア団体が講座を行っています。また、学校では、視覚や聴覚、車いす利用者等の障がいがある方を講師に招いて福祉学習を実施しています。また、「ちょっとしたサポート」を大人が学ぶ機会が少ないことから、今年度の新規事業として講座を企画・準備しています。



学校では、障がいがある人も参加して福祉学習を実施！

「山王キネまち大学 2023」とのコラボも！

障がいの理解や基本的なサポートを学ぶ講座も行いますが、他にもまちキネで「障がい」をテーマした映画上映と併せて、ちょっとした疑似体験ができる機会もつくっていきます。講座の参加者募集が始まったら、ぜひお申込み下さい。

視覚障がいの選手をサポート！

～県障がい者スポーツ大会出場に向けて ボランティアが伴走～

視覚と聴覚に障がいがある鉾形和志さん（会社員）が、6月、天童市のNDソフトスタジアム山形で開催される「第22回障がい者スポーツ大会」で、200mと50m走出場を目指しています。

3月に、練習と本番で伴走してくれる人を探していると相談がありました。市身体障害者福祉協会を始め、市関係課や団体等でも働きかけてくれましたがすぐには見つからず、現在は以前から鉾形さんをサポートしている方と、ボランティアセンター登録者等3名との計4名が小真木原運動公園内で交代で毎週サポートをしてくれています。

サポートボランティアより

伴走ロープを引っ張ると違反になるらしい。うまく伴走するには？…と、鉾形さんに教わりながら、新たなチャレンジにわくわくしています。

<Sさん>



＜ウォーキングから徐々に、ランニングへ！＞

災害時のボランティア 事前登録できます！

NPO 法人鶴岡災害ボランティアネットワークとの連携事業

鶴岡での災害発生を想定して！

近年、山形県内では毎年のように災害が発生しています。令和元年の山形県沖地震の振り返りを踏まえて、鶴岡で災害が発生した時に、大きな被害を受けなかった市民がまず助け合える仕組みをつくっておきたい。また、慌ただしいボラセンの負担を少しでも減らしてあげたいという想いから、NPO 法人鶴岡災害ボランティアネットワーク（村井勢一代表）が、「災害被災地支援応援隊事前登録」の活動に令和2年から取り組んでいただいております。

登録を希望する方へ（団体、企業も歓迎）

強制的に活動を求められるものではありません。
できる時にできる範囲で OK です。

<問合せ・申込先>

- ◆NPO 法人鶴岡災害ボランティアネットワーク
代表 村井勢一氏 電話 090-1399-6100
- ◆鶴岡市ボランティアセンター（にこ♥ふる2階）
電話 0235-23-2970 FAX23-9110

○ボランティアセンターに登録用紙があります！

県内外の被災地支援にも！

令和2年から続いてきた新型コロナウイルス感染症は、被災地でのボランティア受け入れ対象を地域限定にせざるをえない等の影響を与えました。

そのような中、令和4年に発生した宮城県大崎市（災害時応援協定締結）や飯豊町の豪雨災害では、当センターでもボランティアを広く募集を行わず、この取組で事前登録している方をお願いし、限られた人数で活動を行ってきました。



▲山形県沖地震、大崎市の豪雨水害でのボランティア活動より

小児がん患者支援の社会貢献活動

「レモネードスタンド」にご協力を！



「レモネードスタンド」は、アメリカの小児がん患者の少女が、自分と同じ病気の子供たちのために治療費や研究費を寄付しようと、自宅の庭にレモネードスタンドを開いたのが始まりで世界中に広がった活動で、アメリカでは「レモネード」は元気を与えてくれる飲み物として愛飲されています。山形県内では、県青年の家を拠点にして、「2023年山形レモネードスタンドプロジェクト」が学生たちのボランティア活動としてスタートしました。また、庄内町でいち早く活動を始めた堀井しおりさんが、勤務先に常設のレモネードスタンドを設置し、さらに各市町への周知活動にも取り組んでいます。



▲PR に来てくれた堀井さん

企業、団体、地域等で興味がある方、協力いただける方へ

○内容 500ml 入りペットボトルの「ポッカレモン100」をまとめて購入し、イベントや店舗等で1本200円で販売その利益を小児がん支援活動に寄付。

○問合せ先 山形県青年の家内 山形レモネードスタンドプロジェクト実行委員会
電話 023-654-4545
メール pishiit@pref.yamagata.jp

ボランティアに関する保険 変更のお知らせ

5月8日（月）から
新型コロナウイルス感染症の
取り扱いが変わりました！

国による「五類感染症」への位置づけに伴い、ボランティア関係の保険の取り扱いが次のように変更されましたのでご理解をお願いいたします。

○ボランティア活動保険

ボランティア活動中に感染した場合に支払いができた保険金が、すべて対象外となりました。

○福祉サービス総合補償

感染し病院・診療所などに入院した場合を除き、保険金支払いの対象外になりました。

※これまで、重症化リスクの高い方等が宿泊施設や自宅で療養した場合に行われてきた「みなし入院」の取扱いはなくなりました。

※詳細は、株式会社福祉保険サービスのホームページをご参照ください。

予告です 「じろで庄内 2023」

ボランティアスタッフ募集予定

大会開催日 9月10日（日）

実行委員会が募集を始めたら、あらためて周知いたします！



<くらくがき> 新型コロナウイルス感染症の取り扱いが変わり、観光地や飲食業等ではこれからという矢先に、北陸地方で大地震が発生…心が痛みます。被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。「明日は我が身」の気持ちで備えています。（H） ※「ボランティアセンターだより」は、昨年度までの年6回を今年度から4回（5、8、11、2月）の発行となります。

